

2 : 25 ~ 34 北側の 3 部族

ダン族が筆頭

(1) 北側の 3 部族の筆頭はダン族である。ラビ伝承によれば、ダン族の旗じるしは蛇である。イスラエルの歴史のこの段階では、ダン族に高い地位が与えられていた。驚くべきことである。後になってダン族は、信仰のゆえに荣誉ある地位を失うことになる。いわばダン族は、12 部族の中の「イスカリオテのユダ」である。(2) ダン族の東隣にアシェル族、さらにその東隣にナフタリ族が宿営した。(3) ダン族の人数は 62,700 人、アシェル族の人数は 41,500 人、ナフタリ族の人数は 53,400 人であった。(4) 北側の 3 部族の合計 (兵士として登録された者の合計) は、157,600 人であった。

ダンとナフタリは、ラケルの女奴隷ビルハの息子たちである。アシェルは、レアの女奴隷ジルパの 2 番目の息子である。12 部族の配置は、基本的には母親が誰かによってグループ分けされている (アシェルがこのグループに入っているのは例外的措置である)。

「以上が、イスラエルの子らで、その一族ごとに登録された者たちであり、全宿営の軍団ごとに登録された者の総数は、六十万三千五百五十人であった」(32 節)。(1) 12 部族の合計 (戦士となる者の数) は、603,550 人であった。(2) レビ族まで含めた数は、625,550 人である。民数記 3 : 39 には、レビ人の数は 22,000 人と書かれている。「モーセとアロンが【主】の命により氏族ごとに登録した、すべての登録されたレビ人は、一か月以上のすべての男子であり、二万二千人であった」。(3) 625,550 人という数は、成人男子だけの人数である。女性や子どもまで含めれば、イスラエル人の総人口は 200 万人前後であったと思われる。

「イスラエルの子らは、すべて【主】がモーセに命じられたとおりに行き、それぞれの旗ごとに宿営し、それぞれその氏族ごと、一族ごとに進んで行った」(34 節)。今後、イスラエルの民は神から示された配置図に従って宿営し、神から示された順番で行進することになる。そして民は、【主】か

らの命令通りに整然と前進した。行進する民の隊列の真ん中を、幕屋とその器具を運ぶレビ人たちが進んで行った。教会もまた、靈的戦いを戦うように召されているが、私たちにとっての励ましは、教会の真ん中にキリストがおられることである。私たちには、キリストの兵士としての自己認識がどれくらいあるだろうか。「キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをともにしてください。兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わ^{わづら}されることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせよう」とします」(2テモ2:3~4)